

熊本県広報誌

県からのたより



特集 県政この一年

元気で明るい熊本づくり

知事室から



熊本県知事 潮谷義子

皆さんにとって、この一年どんな年でしたか。県では、「ユニバーサルデザイン」と「パートナーシップ」を県政の基本に、「産業」「安全安心」「教育・文化」「福祉」「県土」「環境」の六つの分野で重点施策を進めてきました。中でも、二十九プロジェクトを「元気づくりプロジェクト」と位置付け、「元気で明るい熊本づくり」に向けて特段の努力を重ねて参りました。その結果、過去最高水準の企業誘致の達成や、九州新幹線の熊本駅周辺工事の本格着工など、着実な歩みを見せています。また、今年には水保病の公式確認から五十年という節目の日を迎えた年でもありました。今回の特集では、各「元気づくりプロジェクト」の主な取り組みを中心に、この一年の県政の動きをご紹介します。皆さんにとって、来年も良い年になりますよう、お祈りいたします。

過去最高水準の企業誘致

半導体、輸送機器関連企業を中心に過去最高水準の三十六件(一十一月)の誘致に成功。十月には、一昨年誘致が決定した富士フイルムの第一工場が操業を開始しました。さらに、サービス業分野でも大規模コールセンター(企業の顧客へのサービス内容の説明)の進出が決定するなど、本県経済の活性化が期待されます。

また、自動車関連産業などの取引拡大を目指す「ものづくりフォレスト構想」や、IT関連産業にかかると「セミコンダクタ・フォレスト構想」を進めるほか、ソーラー(太陽光発電)関連産業を県産業の新たな柱とすべく、十一月に「熊本ソーラー産業振興戦略」を策定しました。あらゆる産業の元気づくり「ものづくり産業の競争力強化」

※「元気づくりプロジェクト名」以下同じ



富士フイルム九州 第一工場操業開始(10月30日)

整備進む九州新幹線

平成二十二年度末の全線完成に向けて着々と工事が進む九州新幹線。十月には熊本駅周辺区間の高架橋工事が本格着工しました。同月、知事、熊本市長、JR九州社長、地元経済界代表などによる「熊本駅周辺整備に関するトップ会議」を開催。今後、「熊本駅周辺地域整備基本計画」を踏まえ、さらに利便性や魅力を高める視点からの議論を進めます。

未来に続く県土づくり「新幹線新駅周辺の整備」



工事が進む九州新幹線(宇城市から宇土市方面を望む)

「長崎VS熊本キャンペーン」展開中



JR九州と連携し、「長崎のひらめ」と「熊本の馬刺し」など、長崎、熊本両県の代表的な観光素材を対比させること

地域で広がる子どもの見守り活動

「くまもと犯罪の起きにくいまちづくり県民会議」を一月に発足。三月には全国で初めてとなる県老人クラブ連合会と県、県警察本部、県教育庁の四者による「子どもの安全確保に関する協定」を締結しました。



「車に気をつけてね...」

老人クラブをはじめPTAなど、三百九十七団体約二万七千人(十一月現在)が子どもの見守り活動を行っています。また、振り込め詐欺防止の啓発や「カギかけ日本一運動」の推進など、県民の皆さんの防犯意識の高揚に取り組んでいます。

- 主な記事
- 1 2 3 特集/県政この一年 元気で明るい熊本づくり
 - 4 お出掛けするなら子育て応援の店へ
 - 5 第4回ユニバーサルデザイン全国大会・知りたい!県庁
 - 6 7 お知らせ・安全安心なまちづくり
 - 8 新幹線くまもと創り・来て見てだより